

「学力向上ポートフォリオ(学校版)」

～ 「真の学力」 育成の継続的な取組を目指して ～

<本年度の学力向上基本方針>

学校教育目標 『かしこく なかよく たくましく かがやく子の育成』

- 児童の意欲を高め、学力を付ける「よい授業」の推進
- さいたま市「アクティブ・ラーニング」型授業の推進
- 朝学習や「グローバル・スタディ」の充実

4月 学力向上目標①

- さいたま市学習状況調査の「授業の内容はよく分かりますか。」(国語・算数)の質問に対して、肯定的な回答が90%以上になるようにする。

<目標達成に向けた学力向上策>

策1

全学年で「よい授業」の4つの因子を意識した、「アクティブ・ラーニング」型の授業を実施する。

開始期日

6月

具体的な手立て

- ・令和元年度さいたま市学習状況調査を分析し、実態を把握する。
- ・学校課題研修において「よい授業」の4つの因子を確認する。
- ・授業や単元の終わりに練習問題に取り組みせ、学習内容の定着を図る。

本年度の振り返り

- 「授業の内容はよく分かりますか。」の質問に対して、国語は、調査した4つの学年すべて肯定的な回答が90%以上となった。算数についても、調査した4つの学年中3つの学年で肯定的な回答が90%を超える結果となり、概ね良好な成果を上げることができた。

達成度

2月

3月

次年度の学力向上目標の柱・ポイント

- ・全学年でさいたま市「アクティブ・ラーニング」型授業を実践していく。
- ・5・6年生で完全教科担任制(一部中学校教員による授業)を実施し、授業の質をより向上させることで、学習内容の理解度・定着度の向上と学びの高度化を図る。

4月

学力向上目標②

○「よい授業」のアンケートの「先生がテレビやパソコンなどの機器を使って授業をしてくれる」という質問に対して、昨年度の学校平均を上回る値にする。

<目標達成に向けた学力向上策>

策1

ICT機器を授業に効果的に取り入れることで、児童の学習意欲を向上させる。

開始期日

5月

具体的な手立て

- ・ICT機器の具体的な活用方法について、研修を行う。
- ・教科書をPDF化することで、授業に活用しやすい環境を整備する。

8月

策2

1人1台のタブレット型パソコンを使用し、個に応じた授業を行うことで、児童の基礎学力を向上させる。

開始期日

10月

具体的な手立て

- ・タブレット型パソコンを各フロアに配置し、適宜使用できる環境を整える。
- ・スタディエッセンスの使い方を指導し、家庭学習でも生かせるようにする。

2月

本年度の振り返り

○タブレット型パソコンを全教室で使用できるように環境を整備した。授業で活用する機会が増え、「よい授業」のアンケート「先生がテレビやパソコンなどの機器を使って授業をしてくれる」という質問に対して、昨年度よりも0.4ポイント向上させることができた。

達成度

3月

次年度の学力向上目標の柱・ポイント

- ・『GIGA スクール構想』を踏まえ、タブレット型パソコンの授業での活用方法を研究し、より一層個別最適化した学びができるように授業実践を積み上げていく。